

土木学会継続教育プログラム 平成 16 年度 「安全で経済的な施工計画を行うための講習会」
受講者アンケート調査結果

【講習会名】 安全で経済的な施工計画を行うための講習会
- 仮設構造物の計画と施工に関する講習会 -
【開催日時】 2004 年 11 月 30 日(火)9:30 ~ 17:00
【開催場所】 土木学会講堂
【出席者数】 34 名
【アンケート回答数】 34 (回収率 100%)

1. 受講者のプロフィール

1.1 所属

【所属】	回答数	比率	
建設会社	16	47%	47%
建設コンサルタント	13	38%	38%
メーカー(橋梁鉄鋼重工等)	1	3%	3%
官公庁(国、公団)	0	0%	0%
官公庁(地方公共団体)	0	0%	0%
ソフトウェア関連	0	0%	0%
公益事業 (電力・ガス・鉄道など)	2	6%	6%
学生	2	6%	6%
その他	0	0%	0%
計	34	100%	

1.2 現在の業務内容

【業務内容】	回答数	比率	
施工管理	3	9%	9%
設計・計画	29	85%	85%
エンジニアリング	0	0%	0%
調査・研究・開発	1	3%	3%
数値解析	0	0%	0%
その他	1	3%	3%
計	34	100%	

1.3 年齢

【年齢】	回答数	比率	
～25	5	15%	15%
26～30	14	41%	41%
31～35	9	26%	26%
36～40	5	15%	15%
41～45	0	0%	0%
46～	1	3%	3%
計	34	100%	

1.4 工事経験年数

【 工事経験年数 】	回答数	比率	
なし	17	50%	50%
1年未満	0	0%	0%
1～2年	4	12%	12%
3年～5年	6	18%	18%
6年～10年	5	15%	15%
10年以上	2	6%	6%
計	34	100%	

1.5 設計・計画経験年数

【 設計・計画経験年数 】	回答数	比率	
なし	4	12%	12%
1年未満	5	15%	15%
1～2年	6	18%	18%
3年～5年	10	29%	29%
6年～10年	4	12%	12%
10年以上	5	15%	15%
計	34	100%	

2. 講習会について

2.1 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

【 案内方法 】	回答数	比率	
土木学会誌の会告	9	26%	26%
土木学会のホームページ	10	29%	29%
その他[社内の案内・回覧]	16	46%	46%
計	35	100%	

2.2 参加の動機をお答えください。(複数回答可)

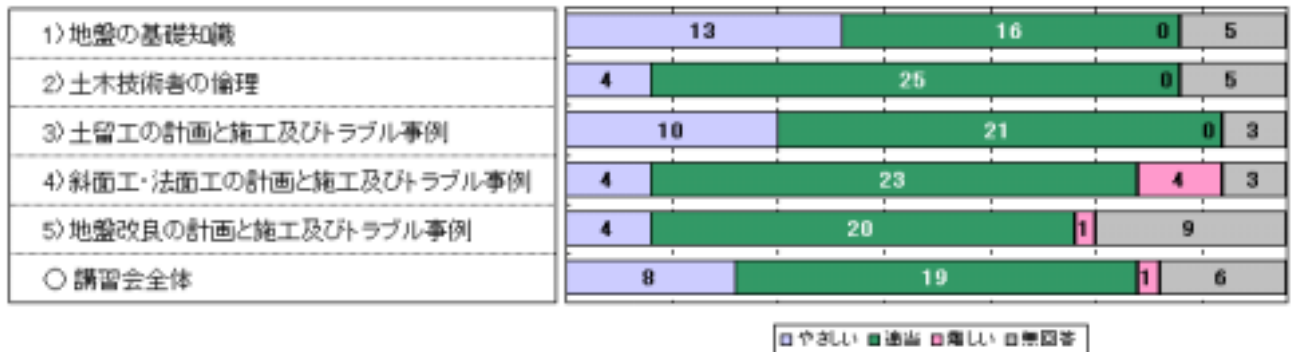
【 参加の動機 】	回答数	比率	
テーマに興味があった	10	20%	20%
業務に役立つと思った	18	37%	37%
上司に勧められた	20	41%	41%
その他	1	2%	2%
計	49	100%	

2.3 参加費についてお答えください

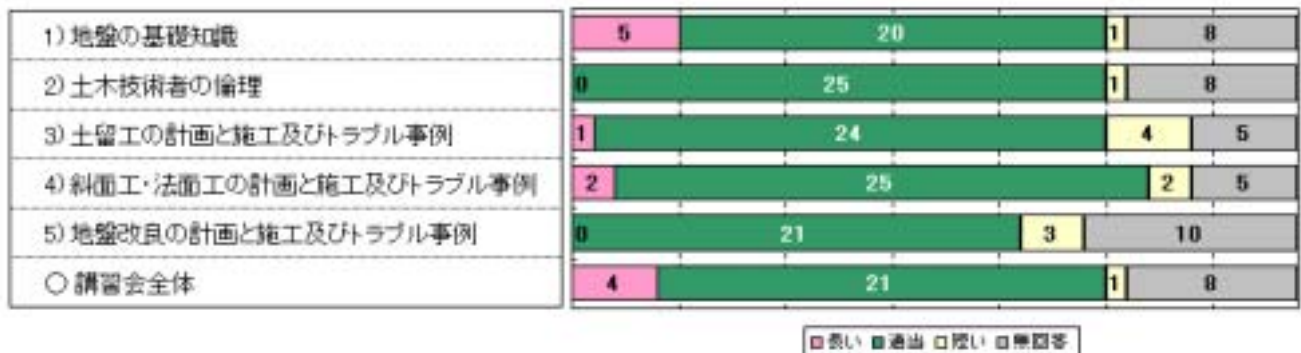
【 参加費 】	回答数	比率	
高いと思う	7	21%	21%
適当である	26	76%	76%
安いと思う	0	0%	0%
無回答	1	3%	3%
計	34	100%	

2.4 講義内容の難易度と講義時間についてセッション毎にお答え下さい。

【講義の難易度】(回答数:34)



【講義時間】(回答数:34)



2.5 講義内容が特に良かった(啓発された, 実務に役立つ)セッションをお答えください。(複数回答可)

	回答数	比率	
1)地盤の基礎知識	7	9%	7
2)土木技術者の倫理	20	26%	20
3)土留工の計画と施工及びトラブル事例	21	27%	21
4)斜面工・法面工の計画と施工及びトラブル事例	13	17%	13
5)地盤改良の計画と施工及びトラブル事例	17	22%	17
計	78	100%	

2.6 今後、講習会で取り上げて欲しいテーマがありましたらご記入ください。

施工関係(7)、環境(1)、新技術(1)、補修(1)、検査・品証(1)、倫理(1)、その他(2)

- ・ 環境分野(土壌浄化、処分場等)
- ・ 構造物系の施工、トラブル事例についてとりあげていただきたい。
- ・ 今回は施工サイドでの事故事例が多かった様な気がするが、設計サイドのミスによる事例を紹介した講習会があればと思う。
- ・ 基礎杭の施工について取り上げてほしい。
- ・ 施工条件と工法などの選定、コストなど
- ・ 発注図面には載っていないが、実際の施工ではやらなければいけないこと、あるいはやった方がよいということとその理由についての講習会(例えば鋼材のスチフナなど)
- ・ 橋梁系のテーマ
- ・ プロジェクトXに取り上げられるような日本を代表する工事の担当者による経験談
- ・ 線路近接等の特殊な環境による設計・施工方法の講義
- ・ 土木構造物の補修技術
- ・ 建設コスト縮減のための新技術
- ・ 今回初めて参加しました。倫理の講義は大変有益になったと思います。公共事業の体質から技術者倫理によって品質が確保されると思います。今後もより一層、倫理講義の開催を行って欲しい。
- ・ 非破壊検査技術の現状と土木分野での活用・適用事例...機械・資源分野で進んでいる非破壊検査技術を土木構造物の健全度評価技術に採り入れるための課題と技術開発について講義して欲しい。
- ・ 施工事例を詳細に紹介していただけるような講習が多くあればいいと思います。

2.7 感想・意見などありましたらご記入ください。

テキスト(2)、開催日数(2)、参加率(1)、賛辞(6)、その他(1)

- ・ 講義は基本的なことを再確認することができた。ただ、トラブル事例でやるべきことをやっていなかった(手抜きと思えるような)事例は紹介しなくてもいいのではないかと思いました。
- ・ わかりやすくなった。
- ・ 時間が短いため、質疑をまとめる時間がなかった。二日間でも良いと思う。
- ・ わかりやすく説明して下さってありがとうございました。会場が寒かった。
- ・ テキストの資料はカラーで印刷して欲しい。当然コストはかかるとは思いますが、見えにくい資料は後で見ないような気がします。
- ・ 仮設設計をする上での基本的な知識を再確認することが出来た。今まで、倫理に対しては、こういった話を聞いたことがなかったため有意義であった。
- ・ 実際に起こった事例をたくさん聞けて貴重な経験になりました。
- ・ 講習会全体を通して非常にわかりやすい内容のものが多かった。
- ・ 事前にテキストを配布して欲しい。
- ・ テーマによっては半日(午後)の開催を望みます。
- ・ 講習会の参加率を高める工夫をしてはいかがでしょうか。例えば、今回のような継続教育対象講習 10回を受講し、修了試験に合格すれば中級技術者の資格が得られる等のインセンティブが考えられると思います。
- ・ 全般的に基本的な内容でしたが、「基本が大事」ということを再認識することができた講義でした。